



インバウンド観光の推進 による地域の活性化

東海大学は、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に採択されました。この中で掲げられている『地域の魅力を発信する』ことを目的とした広域観光事業を推進するため札幌、熊本、清水、湘南・代々木の各校舎が一堂に会し、それぞれの取組を紹介します。さらに各地域の広域連携によるインバウンド(訪日)観光推進と地域の活性化について議論を深めます。

パネルディスカッションに先立つ基調講演では、沢登次彦氏に今後の日本の観光に必要な戦略について分かりやすい解説もしていただきます。観光および地域振興に興味を持たれている方々のご来場をお待ちしています。

基調講演 沢登 次彦 氏 『観光立国と地方創生で日本を元気に』

(株式会社リクルートライフスタイル 地域創造部長/じゃらんリサーチセンター長)

開催日時 2016年12月18日(日) 13時 開会

場所：東海大学 代々木校舎 2号館1階 2B11教室

(小田急線代々木上原駅・代々木八幡駅、東京メトロ千代田線代々木公園駅、京王井の頭線駒場東大前駅から徒歩約15分)
(地図)http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/yoyogi_campus.pdf

○12:30 開場・受付開始

●13:00 開会 司会：松本 亮三 (湘南・代々木校舎 観光学部教授)
開会挨拶と趣旨説明 松本 亮三 (同上・本To-Collabo大学推進プロジェクト代表者)

●13:10 ~ 14:10 **基調講演 沢登 次彦** (上記・右写真)

○14:10 ~ 14:20 休憩

●14:20 ~ 15:40 **活動報告**

屋代 雅充 (湘南・代々木校舎 観光学部教授)

■話題：「訪日観光客の丹沢湘南地域への誘致」

東 恵子 (清水校舎 海洋学部教授)

■話題：「クルーズ客船インバウンド観光—海の玄関口清水港を拠点にした地域振興」

宮内 順 (熊本校舎 経営学部教授)

■話題：「熊本地震後の観光による地域振興—復興DMO (DMC) の確立を目指して」

植田 俊 (札幌校舎 国際文化学部助教)

■話題：「大都市近郊におけるインバウンド観光推進に向けた地域ホスピタリティー形成・向上実践—定山溪温泉におけるグローバルマップ・アイコンづくり」

●15:50 ~ 17:00 **パネルディスカッション** (会場参加者との質疑応答を含む)

テーマ インバウンド観光の推進による地域の活性化

コーディネーター 岩橋 伸行 (湘南・代々木校舎 観光学部長・教授)

パネリスト 植田 俊 (上記)・宮内 順 (上記)・東 恵子 (上記)・屋代 雅充 (上記)
各校舎プロジェクト参加学生

コメンテーター 亀山 安之 (一般社団法人川崎市観光協会
産業観光プロデューサー&ツアーディレクター)

●17:00 閉会

■主催 東海大学 観光学部(湘南・代々木校舎)・海洋学部(清水校舎)・経営学部(熊本校舎)・国際文化学部(札幌校舎)

■協力 丹沢湘南観光連携会議 ■参加費 無料 ■定員 約150名 ■参加申込 不要

■問合せ 東海大学 代々木校舎 03-3467-2211(代表) 代々木教学課

●駐車場がございませんので、公共交通機関でのご来場をお勧めします。

